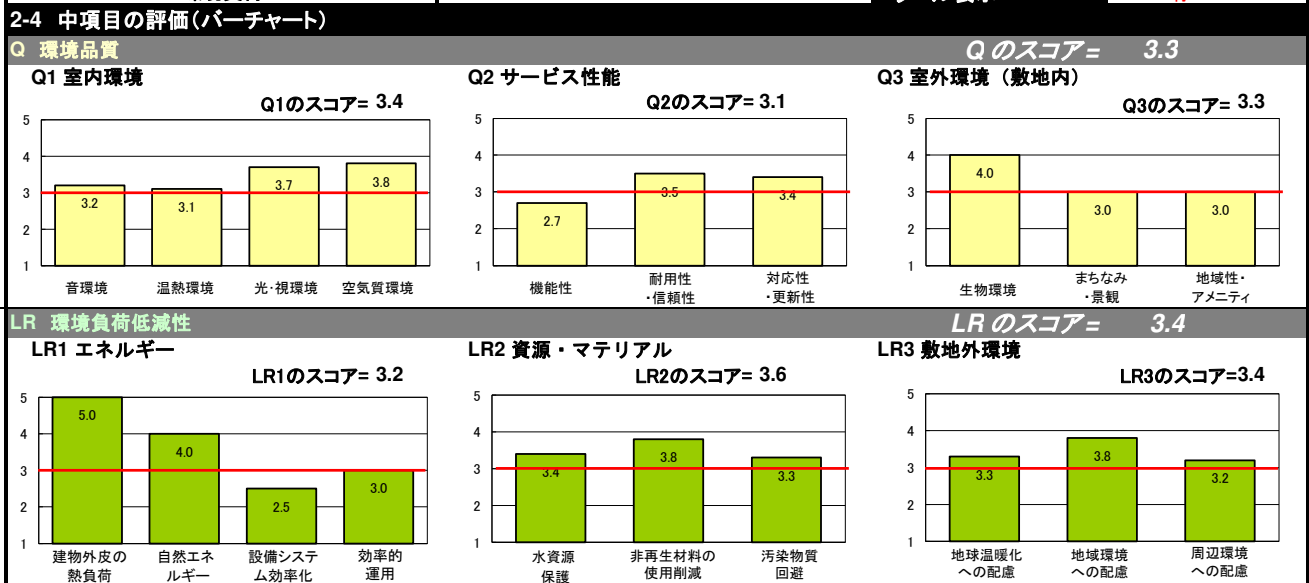
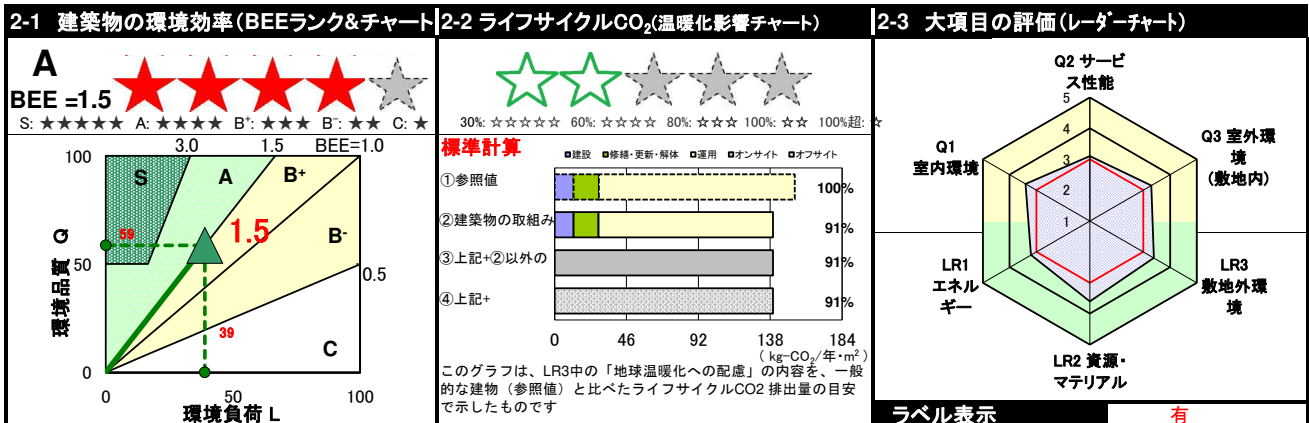




建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)新中央こども相談センター建設工事	
建設地	浪速区浪速東1丁目	
建築用途	児童福祉施設	
建築主	大阪市長	
設計者	大阪府都市整備局	
敷地面積	10,267.26 m ²	
建築面積	2,849.81 m ²	
延床面積	5,993.06 m ²	
構造/階数	RC造 / 地上3階	
完了年(予定)	2025年1月	



3 設計上の配慮事項		
総合	Q1(室内環境)からLR3(敷地外環境)までの6つの項目をバランスよく向上させ、総合的に環境性に優れた建物としている。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
開口部の遮音性能の確保、外皮性能の向上、昼光率の確保、F☆☆☆☆建材の採用など室内環境の向上に配慮している。特に、建物内部に設けた光庭で昼光を取り込み光・視環境に配慮している。	維持管理に配慮した設計、天井高の確保等により建物の機能性を高めるとともに、耐震性を向上させ、耐用年数の長い配管材料を採用するなど耐用性・信頼性に配慮している。	道路から建物までのアプローチ、建物の周囲、敷地境界沿いを中心に、敷地内にじゅうぶんな緑地を確保している。また、2階の東西面のバルコニーには全面的にプランターを配置し建物緑化にも努めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
外皮性能の向上を図るとともに、建物内部に設けた光庭で昼光を取り込み自然エネルギー利用にも配慮している。	自動水栓、節水便器やリサイクル建材を導入し省資源に取り組むとともに、内装壁のGL工法や事務室のOAフロアの採用により将来の部材再利用可能性向上にも配慮している。	敷地内の緑化だけでなく、バルコニーへのプランターを配置し建物緑化にも努め、地域環境の向上にも配慮している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.3 LCCO2 9%削減
配慮事項	省エネ対策により運用時のCO2排出量を削減

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	4.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 4.0 敷地内及び建物を緑化し敷地内の生物環境に配慮
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 3.0 敷地内及び建物を緑化し敷地内の温熱環境に配慮
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 4.0 敷地内及び建物を緑化し敷地外の温熱環境に配慮
配慮事項	敷地内の緑化だけでなく、バルコニーへのプランターを配置し建物緑化にも努め、敷地内環境および地域環境の向上に配慮している。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 5.0 BPI _m =0.72
配慮事項	外壁、屋根の断熱、複層ガラスの採用により外皮性能の向上に配慮した。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 2.5 BEI _m =0.89
配慮事項	高効率パッケージエアコン、LED照明、潜熱回収ガス給湯機等の採用

省エネルギー基準計算結果

基準 適合状況	適合
------------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEI_mが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEI_mが1.0以下であること）

	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]
外皮性能	- (相当)	0.72
	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]
一次エネルギー消費量	0.89	-
		非住宅部分[BEI][BEI _m]
		0.89